

記録メディア

88888400KB

記憶容量

(50GB) 500000000KB

2008

フロッピーディスクは1972年、米国で誕生。日本では'76年、日立マクセル株式会社が初めて「FD-3200S」(8型)を商品化した。フロッピーディスクは、ディスクの磁化状態を磁気ヘッドで電気的に変化させてデータの記録・消去を行う「磁気ディスク」。一方、レーザー光の照射によりデータ読み書きを行う「光ディスク」では、ディスクの記録膜をレーザーで熱し、その物理的変化で反射率を変えることによってデータの書き換えが可能になった。ブルーレイディスクは波長の短い青紫色レーザーを採用することによって従来のDVDの5倍以上の記憶容量を実現。日立マクセルは高精度記録に加えて、記録後の経年変化を抑制し長期保存に適した「アーカイブ品質」を重視している。



国産初のフロッピーディスク「FD-3200S」

1976

ブルーレイディスク「BD-R DL ひろびろ超美白レーベル」



編集後記

洗濯機や冷蔵庫など、毎日の生活をサポートする家電製品。日本では、風土やライフスタイルに合わせて、独自のハイテク家電・多機能家電が開発されてきました。今求められるのは、便利なことに加えて、快適さやエコにつながるかどうか。特集では、家電製品のさまざまな機能を「心地よさ」というテーマで取材しました。人気の連載「ダントツさんが行く！」の空気清浄機も、併せてどうぞ。

(伴野)

「日立紀行」では、注目のクリーンエネルギーの一つ、風力発電を取材しました。各社の風車がずらりと並ぶ中、くるりと背を向けたように見える風車が。このダウンウインド方式は、吹き上げる風をとらえるのに力を発揮、設置拡大が期待されています。ぜひご注目ください。(岩井)

ひたち 2009 Vol.71 No.2 Spring

発行人 萩原 淳

編集人 伴野 明

発行所 日立評論社

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1

企画・編集 ◎株式会社 日立製作所

コーポレート・コミュニケーション本部 宣伝部

tel.03-3258-1111 (大代表)

制作 株式会社アルシーヴ社

デザイン 河合千明デザイン室

印刷 ◎日立インターメディアックス株式会社

取次店 株式会社オム社

〒101-8460

東京都千代田区神田錦町 3-1

tel.03-3233-0641 (代表)

◎本誌ホームページ◎ www.hitachi.co.jp/Sp/hitachi/